

<p>投稿年月日</p>	<p>令和3年6月8日</p>	<p>投稿者</p>	<p>県内在住 30代 女性</p>
<p>ご意見・ご提案内容</p>	<p>不妊治療助成金についての投稿がなかったので投稿させていただきます。私は不妊治療を始めてから6年目になります。助成金制度も5回ほど利用させていただいており、非常にありがたいものだと感じています。菅首相に代わってからすぐに不妊治療助成金について見直しがありとても喜んでいたうちの一人です。</p> <p>しかし、実際助成金の申請をしてみると、見直し前後で実際手元に戻る金額には変化がありませんでした。4月から5月にかけて凍結胚の移植をしたのですが、助成対象期間にかかった費用約18万円のうち、県からの助成金10万円・市からの助成金3万円合計13万円となります。</p> <p>ちなみに見直し前の助成額で計算すると、県から7.5万円・市から5.5万円合計13万円です。助成金制度が無い市町村もありますので贅沢をいっているのも重々承知の上ですが、自己負担金5万円という枠はとても疑問に感じます。</p> <p>助成対象の病院が長崎市内に3件しかなく、交通費もばかになりませんし、助成金対象期間以外にも事前検査・妊娠判定後も1か月は毎週診察に行き流産防止対策のホルモン剤など全て自費診療です。実際に凍結胚を移植して不妊治療医院を卒業できるまでは、申請額の倍以上の金額がかかっています。</p> <p>せっかく政府が見直しをしてくれているのに利用する市民の元には届かないというのはとても疑問に感じました。</p> <p>どうかこれからの不妊治療をしなければならない夫婦の為に、どうかこれから生まれてくるかもしれない命のために見直しをお願い致します。</p>		
<p>回答</p>	<p>貴重なご意見ありがとうございます。</p> <p>ご意見いただきました不妊治療助成金につきまして、国の助成額が増額になったにもかかわらず、自己負担金に変化がないという現状のご指摘につきましては、5万円の自己負担金額を定めていることから、今後検討していく必要があります。</p> <p>国は、今夏診療ガイドラインを作成、令和4年4月からの不妊治療への保険適用の詳細が決定されていきます。国の制度改正を受け、本市の不妊治療助成についての制度の見直しを今後検討していきます。</p> <p>本市では、出産を希望する世帯を広く支援するために、子育て世代包括支援センターに専門の助産師を配置しています。妊娠・出産などにつきまして、ご不明な点や不安なことがございましたら、保健師や助産師等の専門職にどうぞお気軽にご相談ください。</p> <p>【子育て世代包括支援センター（こども未来課）電話73-6652】</p>		
<p>担当課</p>	<p>こども未来課</p>		